

2025 年国際博覧会の誘致に関する決議

国際博覧会は、人類が抱える地球的規模の課題に対し、世界からの知恵を一堂に集めることで、解決方策を提言する場であり、新しい時代を生きる知恵を広く発信することにより、世界と日本の平和的発展に大きく寄与することが期待されている。

先般、政府において、閣議了解が行われ、「いのち輝く未来社会のデザイン」とし、大阪ベイエリアの人工島・夢洲（ゆめしま）を会場とする国際博覧会の開催についての書簡をB I E（博覧会国際事務局）へ提出し、立候補が行われた。

国際博覧会を我が国で開催することは、日本の歴史・文化の素晴らしさを世界の人々に理解してもらい絶好の機会であり、イノベーションの創出や観光客の増大などを通じて、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会後の持続的な経済成長を牽引するとともに、国際社会における我が国への理解・信頼の向上が期待されることから、極めて大きな意義がある。

よって、全国市長会としては、大阪・関西における国際博覧会の開催を支持するとともに、誘致に向けた全国的な機運の醸成など、必要な取組を積極的に推進するものである。

あわせて、政府においては、誘致実現に向けて、万全の策を講じられることを強く要請する。

以上決議する。

平成 29 年 11 月 16 日

全 国 市 長 会